

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 多文化社会コミュニケーションプロジェクト

1. 事業の趣旨・目的

地域の外国籍の子供たち(幼児)の初期日本語教育

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
12月29日	ふらっとみなみ	白沢由貴 今井敦 今井明子 萩原登美子	美濃加茂市の日本語教室から学ぶ今後のMOMOきっずの課題	「のぞみ教室」の先進的な取り組みから学ぶ会議。課題へののぞみ教室からのアドバイス等
1月29日	ふらっとみなみ	白沢由貴 今井敦 今井明子 萩原登美子	2か月の成果と問題点	開始から2ヶ月間の運営の反省・改善点の話し合い
2月26日	ふらっとみなみ	白沢由貴 今井敦 今井明子 萩原登美子	交流イベントについて	3月に行う予定の日本の子供たちとの交流イベントの計画
3月14日	ふらっとみなみ	白沢由貴 今井敦 萩原登美子	ポスターについて プランニングについて 今後の課題など	ポスターについては再度検討が必要。講師によるこれまでの報告と反省

3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 MOMOきっず
- (2) 開催場所 ラピオ4F まなびひろば 空き教室
- (3) 学習目標 日本の小学校に入学するための初級日本語の取得

(4) 使用した教材・リソース いっしょに にほんご(2種類)、絵本、童謡CDなど

(5) 受講者の募集方法

ポスターを各公共施設に掲示 市の広報に情報を載せてもらう

(6) 受講者の総数 15 人

(出身・国籍別内訳 ペルー4人、フィリピン3人、パキスタン3人、ブラジル1人、
中国4人)

(7) 開催時間数(回数) 30 時間 (全 30 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開講日時	時間	受講者数	教師数	授業概要
1	平成 23 年 12月15日3: 30-4:30p m	1時間	4人(ペルー2人・パキ スタン2人)	教授者1 補助者1	初対面のあいさつ方法を教える。次に あいさつや簡単な自己紹介の方法を教 え、実践する。
2	12月16日	1時間	4人(ペルー2人・パキ スタン2人)	教授者1 補助者1	日常の挨拶を教える。日本語の絵本 の読み聞かせ。
3	12月17日	1時間	4人(ペルー2人・パキ スタン2人)	教授者1 補助者1	点線をなぞる練習。ぬりえをする。 鉛筆の持ち方指導
4	12月21日	1時間	5人(ペルー2人・パキ スタン2人・ブラジル1 人)	教授者1 補助者1	あ〜おの導入 絵カードを使って単語 練習 名前をなぞる
5	12月22日	1時間	5人(ペルー2人・パキ スタン2人・ブラジル1 人)	教授者1 補助者1	あ〜おの復習 ひらがなのなぞり書き。 蛙の歌
6	12月24日	1時間	3人(中国1人、フィリ ピン2人)	教授者1 補助者1	かーこの導入 つりざおゲーム 蛙の歌 じゃんけん
7	12月26日	1時間	4人(ペルー2人・パキ スタン2人)	教授者1 補助者1	かーこの復習 あ〜この字釣りゲーム じゃんけん
8	2012年1月 6日	1時間	2人(ペルー2人)	教授者1 補助者1	さ〜その導入 色の導入 ハトぼっぼ
9	1月7日	1時間	6人(ペルー2人、中 国2人、フィリピン2人)	教授者1 補助者1	さ〜その復習 色の復習・定着 消しゴ ムや文具の使い方
10	1月13日	1時間	4人(ペルー2人・パキ スタン2人)	教授者1 補助者1	た〜との導入 集合ゲーム 前ならえ、 きおつけ等

11	1 月 14 日	1 時間	6 人(ペルー2人、中国1人、フィリピン3人)	教授者 1 補助者 1	た〜との復習 色色ゲーム 集合ゲーム
12	1 月 20 日	1 時間	8 人(中国2人、フィリピン3人、パキスタン3人)	教授者 1 補助者 1	な〜のの導入 色タッチゲーム 自分で色を言えるように指導
13	1 月 21 日	1 時間	4 人(ペルー2人・パキスタン2人)	教授者 1 補助者 1	な〜のの復習 特に「ね」 1〜6の数字
14	1 月 28 日	1 時間	5 人(ペルー2人・パキスタン2人・フィリピン1人)	教授者 1 補助者 1	1〜6の数字の復習 数字を数える練習 はひふの導入
15	2 月 3 日	1 時間	8 人(ペルー2人、フィリピン2人、パキスタン3人、中国1人)	教授者 1 補助者 1	へ、ほの導入 数字を書く練習 サイコロゲーム
16	2 月 4 日	1 時間	7 人(ペルー2人、パキスタン3人、フィリピン2人)	教授者 1 補助者 1	は〜ほの復習 ま〜もの導入 絵本・金太郎
17	2 月 10 日	1 時間	9 人(ペルー4人、中国2人、フィリピン3人)	教授者 1 補助者 1	ま〜もの復習 サイコロゲームで数字の復習 はとぼっぼ
18	2 月 17 日	1 時間	6 人(ペルー1人、中国3人、フィリピン2人)	教授者 1 補助者 1	ア行からマ行までの復習 ひとつ、ふたつの数え方 手遊び歌
19	2 月 18 日	1 時間	8 人(ペルー2人、フィリピン3人、パキスタン3人)	教授者 1 補助者 1	ら〜ろの導入 1から10までの数字 お手玉(数え練習)
20	2 月 24 日	1 時間	9 人(ペルー4人、中国2人、フィリピン3人)	教授者 1 補助者 1	ら〜ろの復習 1から10までの数字の数え方 れを集中的に書く練習
21	2 月 25 日	1 時間	11 人(ペルー4人、中国4人、フィリピン2人、パキスタン1人)	教授者 1 補助者 1	わ・を・んの導入 数字ぬりえ 札を教える いっすんぼうし
22	2 月 29 日	1 時間	10 人(ペルー2人、中国4人、フィリピン2人、パキスタン2人)	教授者 1 補助者 1	わ・を・んの復習 カタカナの導入(ア行とカ行)と書き
23	3 月 2 日	1 時間	8 人(パキスタン3人、中国2人、フィリピン3人)	教授者 1 補助者 1	カタカナの導入(サ行〜タ行)と書き これなあに? はとぼっぼ
24	3 月 3 日	1 時間	7 人(ペルー2人、パキスタン2人、フィリピン2人)	教授者 1 補助者 1	折り紙でひな人形作り(色・形を教える) ひな祭りの絵本

			人、中国1人)		
25	3月9日	1時間	12人(ペルー4人、パキスタン3人、中国4人、フィリピン1人)	教授者1 補助者1	カタカナの導入(ナ行～ハ行)書き カタカナで名前を書く
26	3月14日	1時間	12人(ペルー4人、パキスタン3人、中国4人、ブラジル1人)	教授者1 補助者1	カタカナの導入(マ行～ヤ・ラ行・ワ行)保護者へ小学校入学準備の説明 心構え
27	3月15日	1時間	10人(ペルー2人、中国2人、フィリピン2人、日本人4人)	教授者1 補助者1	日本の園児さんとイースターで交流 絵本 お話
28	3月17日	1時間	8人(ペルー2人、パキスタン3人、フィリピン3人)	教授者1 補助者1	時計(紙)を使って時間を教える 時間について会話練習
29	3月23日	1時間	10人(ペルー2人、フィリピン2人、中国3人、ブラジル1人、パキスタン2人)	教授者1 補助者1	今までの総復習でにほんごで競うゲーム 親子参加
30	3月24日	1時間	6人(ペルー2人、パキスタン2人、中国2人)	教授者1 補助者1	写真で学校の様子をおしえる 友達100人出来るかな?

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)





4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

まったく日本語が書けない、読めない、しゃべれなかった生徒が初期日本語をマスターした。その親御さんの日本語への勉強意欲が高まった。

(2) 学習者の習得状況

ひらがな、カタカナ、数字1－10、日本の基本マナー習得

(3) 日本語教室設置運営の効果, 成果

日本の学校への興味の高まりと勉強への意欲の高まりが感じられた。地域の子供たちとの積極的交流

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果

地域の日本人の子供たちと一緒に遊ぶ機会を作り、顔見知りを作ることに成功。今後も一緒に遊ぶようになってほしい。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

大体、日本の学校に入って驚かない程度の日本語は習得できた

② 今後の課題

落ち着いて話を聞く、一時間しっかりと座って話を聞くなどの学校マナー

③ 今後の活動予定, 展望

4月半ばより再開。ボランティアも増やし活気のある教室にしたい。